

【平成30年度 第2回 男女共同参画懇話会議事要旨】

日時 平成30年 9月 7日 (金) 10:00～11:30
場所 市役所 東館1階 会議室5
出席者 委員…青木、緒方、河合、斎藤、佐藤、三輪、望月
事務局…加藤係長、森田、酒井
傍聴者 0名

1. あいさつ

会長より挨拶

2. 議題

(1) 男女共同参画標語・川柳の経過報告について（事務局から説明）

(2) 次年度に向けた男女共同参画推進事業について（事務局から説明）

（継続方法）

- ・いろいろな部署からいろいろなタイミングで作品募集をしている。学校側の負担軽減のため、年度でまとめて一度に募集してはどうか。
- ・表彰式の時期を年度後半に設定し、夏休みの宿題として検討してはどうか。
- ・どのような形で募集をお願いしているのか。（指導なども必要としているのか）ただチラシを置いてもらうだけならいい。
- ・いったん無くせば、どんどん後退していってしまう。続けることが重要。学校側の負担が少ない方法を検討していきたい。
- ・考える習慣が必要という意味では、そのような機会がある方が、子どものためにはよい自由応募を強調して続けてはどうか。

（応募数）

- ・郵送提出では数が集まらないので、各施設や市役所の待ちスペースに応募箱を置くのはどうか。
- ・市の句会などのサークルへ働きかける。
- ・平成27年度から一般の数が増加しているのは、ここで何かあったのか。
→平成27年度に市内高校への作品募集を開始し、高校・一般枠を設定したため。
- ・一般の応募がほとんどない。フェスタの来場者に応募用紙を配ったり、アンケートに入れ込んだりしてはどうか。
- ・応募数が減っても、表彰の規模を縮小するのはよくない。もっとPRをするべき。

（新しい事業）

- ・啓発誌を作成しても、子どもが読むかというとならない。ユーチューブとか動画とかは取り組みやすいのでは。（動画を作ってもらい投稿してもらう）
→動画はトラブルなどもあるので難しい。
→自由応募ならよいと思う。
→漫画の配布が1番よい。文章・写真だけの啓発では難しい。

- 漫画を読んで、〇〇らしさ、△△らしさを発見するのもよい。
- 漫画の裏面に応募用紙をつけるとよいのでは。
- ・出前講座は、最初は1校でもよい。そこから広げていく、次に繋げていけばよい。
- ある程度講座を実施できたら、小学校は〇年生実施、中学校△年生実施と固定し、小学生向けの内容と中学生向けの内容を啓発していけばよいのでは。講座後に標語・川柳を書いてもらってもよい。
- ターゲット（小学生、中学生）と、何をするのか決めて提示できれば、学校側も選びやすくなるのでは。
- ・何のテーマであっても、皆で考えたり語り合う機会を設ける仕組み、仕掛けを作ることが重要である。
- ・「道徳」が教科化されたので、その授業に組み込んでもらうことも検討しては。

（3）男女共同参画フェスタについて（事務局から説明）

- ・小学校にチラシを配布してはどうか。（ポスター掲示も）
- ・チラシに、「小学生もご覧になれる内容です」など書いてはどうか。
- ・入場整理券の配布については、平日の配布開始では行ける人が限られてくる。働いている人にも対応した日にち設定、方法が必要。
- メールでの申込み、QRコードなどもよい。
- ・表彰式、アトラクションの順番でよい。（それぞれの時間は記載しない）

（4）LGBT施策について（事務局から説明）

- ・当事者の声は届いているか。
- 当事者だとわかるので、逆に来にくくなっているところもあるのでは。
- ・パートナーシップ制度を制定する可能性はあるか。
- 現在のところ予定はしていない。市営住宅や市民病院がないので、制定しても権利が得られない。
- 宣言して公的な支援が受けられなければ実がない感じ。今のところPRに留まっているという印象。
- ・標語・川柳の作品を見ても、LGBTの意識は高まっていると感じる。
- ・研修を多く実施しているので、ここで男女の標語・川柳の応募用紙を配布してはどうか。

次回開催日について

平成30年12月21日（金） 午前10時から